

ロシア語初等学習者のための文法と語彙

—— 名詞 ——

堤 正 典

1. はじめに

ロシア語の名詞についての学習者の重要な課題のひとつは格変化を記憶することである。名詞の格変化は、形容詞や動詞と同様に、以下にみるようないくつかのタイプに分類される。ロシア語の語彙全体の中では語数の多い「規則的」なタイプもあれば、少数の「不規則」なタイプも存在する。有用な表現を使えるようにするというのが外国語教育の本来の目的であるなら、たとえ初等学習者であっても導入すべき語が「規則的」なタイプばかりであるわけではない。形容詞や動詞の場合と同様に、名詞においても初等学習者がいわゆる「不規則」な変化タイプの語もある程度使えるようになる必要がある。ロシア語の教師や教材作成者はそのような文法事項をどのように効率よく学習者に導入するかに留意しなければならない。

本稿は、動詞と形容詞を取りあげた堤 (2002) と同様の手法を用いて、ロシア語初等学習者のための名詞における文法と語彙について考察するものである。すなわち、初等学習者がまず覚えるべきであると考えられる語彙を 600 語に限定し、そのなかの名詞について語形変化タイプの観点から分類し、名詞の文法としてどの語形変化タイプを優先して学習者に提示すべきかを検討する。600 語の選択については、Brown (1996) を用いた¹。以下では Brown (1996) の上位 600 語を B600 と表記する。本稿でのロシア語の前の数字は B600 における順位である。また、本稿でのロシア語への日本語訳は代表的なものと思われるもののみを添えている。

なお、語形変化を分析する際に綴り字を用いるよりも音素表記を用いる

ことが言語学においては妥当であるが、音素表記による表記と分析は学習者にとって（特に初等学習者にとって）相当の負担であり、実際のロシア語教育の場では実用的ではない。したがって、本稿では通例ロシア語教育で行われているとおりにロシア語の綴り字を用いて分析し考察することとする（例には、必要な場合、アクセント記号を付している）。

名詞に関わる文法事項としてはそれぞれの格の用法などもあり、それらを学習者にどのように導入するかは重要な問題であるが、ここでは語形変化のみを考察の対象とする。本稿は語彙数 600 程度の初等学習者が学ぶべき文法事項を検討するもので、複数主格以外の複数形の変化は、そのような学習者にはまだ導入すべき文法事項ではないと考え、ここでは考慮に入れないこととする。

2. 名詞の語形変化

ロシア語の名詞の語形変化は単数形と複数形とにおける格変化である。通常は、主格・生格・与格・対格・造格・前置格の 6 格が存在するとされる。単数主格形が辞書形とみなされ、単数形がない名詞は複数主格が辞書形となる²⁾。

名詞では生物を表すものにも無生物を表すものにも、男性・中性・女性の性の区別があり、その多くのものは語末の形式によって区別される。ロシア語教育においては、通例、単数主格の語末形式によってそれを学習者に導入する。一部には、同じ語末形式であるにもかかわらず異なる性となるものもあり、個別に性を暗記しておく必要のあるものや、意味を考慮に入ればどの性が区別できるものがある。

(1) 男性名詞

- a. 子音字 (‑й 以外) стол (机), месяц (月), отец (父), товарищ (同僚),
карандаш (鉛筆), урок (授業), город (都市), друг (友
達), хозяин (主人)
- b. ‑ь строитель (建設労働者), секретарь (秘書), путь (道),
лагерь (キャンプ)
- c. ‑ий герой (英雄), санаторий (サナトリウム)

- d. -а папа (パパ)
- e. -я дядя (おじさん)

(2) 中性名詞：

- a. -о окно (窓), дерево (木), небо (空)
- b. -е (-ё) море (海), ружьё (銃), солнце (太陽), собрание (集会)
- c. -мя время (時間)

(3) 女性名詞：

- a. -а женщина (女性), улица (通り), задача (課題), душа (魂), книга (本)
- b. -я песня (歌), семья (家族), станция (駅)
- c. -ь часть (部分), мать (母)

(1b) の男性名詞と (3c) の女性名詞はどちらも語末が -ь で、この語末をもつ名詞は個々に性を記憶しなければならない場合が多い³⁾。また、(1d, e) の男性名詞は語末形式が (3a, b) の女性名詞と同じであるが、男性を表す名詞は男性名詞に含まれる⁴⁾。

語形変化のタイプ分けをする際に着目しなければならないのは、単数造格・単数前置格・複数主格である。男性名詞・中性名詞・女性名詞の単数主格語末形式と三つの格語尾の対応をみていく。

(4) 男性名詞

	単数主格	単数造格	単数前置格	複数主格	例
m1-1	子音字 (m1-2 ~ 6 以外)	-ом	-е	-ы	стол
m1-2	ц (語幹アクセント)	-ем	-е	-ы	месяц
m1-3	ц (語尾アクセント)	-ом	-е	-ы	отец
m1-4	ж/ч/ш/щ (語幹アクセント)	-ем	-е	-и	товарищ
m1-5	ж/ч/ш/щ (語尾アクセント)	-ом	-е	-и	карандаш
m1-6	г/к/х	-ом	-е	-и	урок
m1-7	子音字	-ом	-е	-а	город
m1-8	子音字	-ом	-е	-ья	друг
m1-9	子音字	-ом	-е	その他	хозяин
m2-1	ь (語幹アクセント)	-ем	-е	-и	строитель
m2-2	ь (語尾アクセント)	-ём	-е	-и	секретарь
m2-3	ь (特殊変化)	-ём	-и	-и	путь
m2-4	ь	-ем	-е	-я	лагерь
m3-1	й (и + й 以外)	-ем	-е	-и	герой
m3-2	и + й	-ем	-и	-и	санаторий
m4	а	-ой	-е	-ы	папа
m5	я	-ей	-е	-и	дядя

(4) の表で、m1-1 の「子音字」は ц / ж / ч / ш / щ / г / к / х / й 以外の子音字であり、このタイプは硬変化の基本的なものである。一方、m2-1 と m3-1 は軟変化の基本的なものである。また、m4 と m5 の男性名詞はすべての変化形においてそれぞれ -а と -я の女性名詞と同じである⁵⁾。

単数造格について、単数主格の語末が ц または ж / ч / ш / щ / й の場合、アクセントの位置により語尾が異なる (m1-2, m1-3, m1-4, m1-5)。単数主格の語末が ь の場合、アクセントが語尾にあるものは単数造格の語尾が -ём である (m2-2, m2-3)。

単数前置格では、m3-2 は語末の й の前が и (すなわち ий) のものでは、語尾が и となる。

複数主格では、m1-4 ~ 6 で、いわゆる「正書法の規則: г / к / х / ж / ч / ш / щ のあとには ы / ю / я を書かずそれぞれ代わりに и / у / а とする」により複数主格語尾が -ы ではなく -и となる。なお、m1-7 の男性名詞は複

数主格語尾が $-\acute{a}$ となる。また, m1-8 の друг (友達) の複数主格形 друзья のように $-\text{ья}$ の複数主格形も存在する。

(5) 中性名詞

	単数主格	単数造格	単数前置格	複数主格	例
n1-1	о	-ом	-е	-а	окно
n1-2	о	-ом	-е	-ья	дерево
n1-3	о	-ом	-е	その他	небо
n2-1	е (ц/ж/ч/ш/щ/и+е 以外)	-ем	-е	-я	море
n2-2	ё	-ём	-е	-я	ружьё
n2-3	ц/ж/ч/ш/щ+е	-ем	-е	-а	солнце
n2-4	и+е	-ем	-и	-я	собрание
n3	мя	-менем	-мени	-мени	время

(5) の表で, n1-1 は硬変化の基本的なタイプで, n1-2 と n1-3 は複数主格形がそれとは異なる (дерево – деревья 「木」, небо – небеса 「空」)。また, n2-1 は軟変化の基本的なもので, n2-3 は「正書法の規則」によりそれとは複数主格形が異なっている (ここでは ц も同様のふるまいをする)。さらに, n2-4 では単数前置格で男性名詞の m3-2 と同様の語尾をとる。

(6) 女性名詞

	単数主格	単数造格	単数前置格	複数主格	例
f1-1	а (f1-2 ~ 5 以外)	-ой	-е	-ы	женщина
f1-2	ц + а (語幹アクセント)	-ей	-е	-ы	улица
f1-3	ж/ч/ш/щ+а (語幹アクセント)	-ей	-е	-и	задача
f1-4	ж/ч/ш/щ+á (語尾アクセント)	-ой	-е	-и	душа
f1-5	г/к/х+а	-ой	-е	-и	книга
f2-1	я (и+я 以外, 語幹アクセント)	-ей	-е	-и	песня
f2-2	я́ (語尾アクセント)	-ей	-е	-и	семья
f2-3	и+я	-ей	-и	-и	станция
f3-1	ь	-ью	-и	-и	часть
f3-2	ь (特殊変化)	-ер-ью	-ер-и	ер-и	мать

(6) の表で、f1-1 は硬変化の基本的なタイプで、語幹にアクセントをもつ語末形式 **ц** の f1-2 は単数造格において f1-1 と異なる。また、f1-3 と f1-4, f2-1 と f2-2 はアクセントの位置によって単数造格語尾が異なっている。f2-1 は軟変化の基本的タイプである。「正書法の規則」による語尾は f1-3 ～ 5 に現れている。f2-3 における **-и** の単数前置格は **ия** のものに現れ、男性名詞 **ий** 及び中性名詞 **ие** と同様である。

さて、B600 の名詞が上で述べた語形変化のタイプにどのように分類されるのかを次節でみる。

3. B600 における名詞

B600 には名詞が 201 語含まれている。そのうち、男性名詞は 91 語、中性名詞が 38 語、女性名詞が 68 語である。残りの 4 語は、単数形をもたない複数専用名詞 (471 **денег** 「お金」) と 76 **дюди** 「人々」、225 **дети** 「子供たち」、489 **ребята** 「子供たち、仲間たち」といった特殊な複数形を独立に見出し語としているものである。この 4 語はここでの格変化タイプの分類からはずしておく。

その他の B600 の名詞は語形変化の分類で以下のようなになる (男性名詞 m1-5 と m3-2, 中性名詞 n2-2 のタイプは B600 に存在しなかった)。それぞれの分類番号に続けて、単数主格の語末形式を (必要であればその他の特徴も) 添えて分類のタイプを示し、それぞれに含まれる語を列挙していく。

(7) 男性名詞

m1-1.	子音字 (ц/ж/ч/ш/щ/г/к/х/й 以外) — 「基本的硬変化」	
51	год	年, 歳
80	раз	回, 倍
115	труд	労働
139	стол	机
158	народ	民衆
163	вопрос	質問, 問題
196	час	時, 時間
227	совет	助言, 会議

244	план	計画
264	район	地区
272	мир	世界, 平和
274	комитет	委員会
278	вид	眺め, 外見, 種類
285	разговор	会話
286	двор	中庭
290	союз	同盟
297	студент	(男子) 学生
310	сад	庭園
329	институт	単科大学, 研究所
354	член	メンバー
360	свет	光, 世界
371	ветер	風
387	хлеб	パン
413	взгляд	視線, 見解
414	инженер	技師
427	опыт	経験, 実験
434	угол	角, 隅
452	образ	様式
460	рассказ	物語
466	нос	鼻
472	доклад	報告
487	колхоз	コルホーズ
511	зал	ホール
525	ответ	答え
530	завод	工場
537	съезд	大会
539	ход	進行
542	клуб	クラブ
563	самолёт	飛行機
565	шофёр	運転士
578	результат	結果

598	солдат	兵士
m1-2.	ц (語幹アクセント)	
288	месяц	月
m1-3.	ц (語尾アクセント)	
195	отец	父
210	конец	終わり
m1-4.	ж / ч / ш / щ (語幹アクセント)	
298	товарищ	仲間, 同志
m1-6.	г / к / х	
144	мальчик	男の子
214	художник	画家
255	урок	授業, レッスン
268	начальник	上司
347	язык	言語, 舌
363	школьник	(男子) 生徒
381	ученик	(男子) 生徒
390	праздник	祝日, 祭日
422	воздух	空気, 大気
446	кружок	サークル
453	порядок	秩序, 順序
455	успех	成功
541	шаг	一步
593	бог	神
m1-7.	子音字 (複数主格語尾 -á)	
78	дом	家, 建物
84	город	都市
87	глаз	目
181	голос	声, 得票

209	лес	森
238	вечер	晩
293	берег	岸
321	мастер	熟練工, 名人, 職長
342	снег	雪
401	директор	(組織の) 長, 支配人
403	номер	番号, (ホテルの) 部屋
579	доктор	医師

m1-8. 子音字 (複数主格語尾 -ья)

130	друг	友達 > друзья
325	сын	息子 > сыновья
326	брат	兄, 弟 > братья

m1-9. 子音字 (複数主格語尾 その他)

63	человек	人 > люди
418	цветок	花 (一輪) > цветы
447	хозяин	主人 > хозяйева
597	господин	～さん, 紳士 > господа

m2-1. ь (語幹アクセント) — 「基本的軟変化」

276	гость	客
405	парень	若者
454	строитель	建設労働者
590	камень	石

m2-2. ь (語尾アクセント)

81	день	日
322	секретарь	書記, 秘書

m2-3. ь (この語のみの特殊変化)

218	путь	道, 道のり > пути́, пути́, путь, путём, пути́, пути́
-----	------	--

m2-4. ь (複数主格語尾 -я)

463 лагерь キャンプ, 収容所

m3-1. й (и + й 以外) — 「基本的軟変化」

280 случай 場合, 出来事, 機会

534 герой 英雄

m4. а

315 папа パパ

m5. я

449 дядя おじさん

(8) 中性名詞

n1-1. о — 「基本的硬変化」

53 дело こと, 仕事

86 слово 単語

121 место 場所, 席

146 лето 夏

156 лицо 顔

165 письмо 手紙

188 окно 窓

257 тело 体

365 право 権利, 法律

382 чувство 感覚

406 хозяйство 経済

431 молоко 牛乳

462 утро 朝, 午前

509 начало 始め

550 государство 国家

594 общество 社会

n1-2. о (複数主格語尾 -ья)

- 309 дерево 木 > деревьѧ
- n1-3. о (複数主格語尾・その他)
- 339 плечо 肩 > плéчи
- 519 небо 空, 天 > небесá
- n2-1. е (ц / ж / ч / ш / щ / и + е 以外) — 「基本的軟変化」
- 249 поле 草原
- 379 море 海
- n2-3. ц / ж / ч / ш / щ / и + е
- 345 сердце 心臓
- 377 солнце 太陽
- n2-4. и + е
- 307 собрание 集会, コレクション
- 389 движение 動き
- 391 внимание 注意
- 438 занятие 授業, 仕事
- 503 мнение 意見
- 513 предприятие 企業
- 521 отношение 態度, 関係
- 559 здание 建物
- 569 решение 解決, 決定
- 575 произведение 作品
- 583 знание 知識
- 592 развитие 成長, 発展
- 596 условие 条件
- n3. мя
- 62 время 時間
- 236 имя (人の) 名前

(9) 女性名詞

f1-1. a (a-2~5 以外) — 「基本的硬変化」

60	работа	仕事
99	вода	水
123	страна	国
131	машина	自動車
133	комната	部屋
136	голова	頭
148	сторона	側, 面, 方
170	сила	力, 強さ
185	минута	分
228	газета	新聞
245	правда	真実
273	картина	絵
291	война	戦争
295	группа	グループ
306	женщина	女性
323	стена	壁
358	квартира	住戸
384	борьба	闘い, 格闘技
430	жена	妻
445	игра	遊び, 競技, 演奏
479	культура	文化, 教養
481	команда	チーム, 乗組員, 命令
485	школа	(初等・中等) 学校
488	причина	理由, 原因
493	мама	ママ
531	форма	形式
555	пауза	ポーズ

f1-2. ц + a (語幹アクセント)

177	улица	通り
562	птица	鳥

- f1-3. ж / ч / ш / щ + а (語幹アクセント)
 369 задача 課題
- f1-4. ж / ч / ш / щ + â (語尾アクセント)
 409 душа 魂
- f1-5. г / к / х + а
- | | | |
|-----|------------|-----------|
| 103 | рука | 手, 腕 |
| 145 | девушка | 若い女性 |
| 174 | дорога | 道 |
| 179 | книга | 本 |
| 211 | нога | 足 |
| 220 | республика | 共和国 |
| 395 | фабрика | 工場 |
| 429 | стройка | 建設工事, 建築物 |
| 435 | бумага | 紙 |
| 470 | техника | 技術 |
| 477 | встреча | 出会い, 会談 |
| 490 | девочка | 女の子 |
| 522 | бабушка | おばあさん |
| 527 | доска | 板, 黒板 |
| 589 | наука | 科学, 学問 |
- f2-1. я (и + я 以外, 語幹アクセント) — 「基本的軟変化」
- | | | |
|-----|---------|----|
| 235 | песня | 歌 |
| 451 | деревня | 農村 |
| 529 | неделя | 週 |
- f2-2. я (語尾アクセント)
- | | | |
|-----|-------|--------|
| 138 | земля | 大地, 土地 |
| 461 | семья | 家族 |

f2-3.	и + я	
237	партия	党
375	история	歴史, 話
465	армия	軍隊
492	организация	組織
494	станция	駅
599	революция	革命
f3-1.	ь	
68	жизнь	人生, 生命, 生活
129	дверь	ドア
251	ночь	夜中
275	мысль	考え
299	часть	部分
317	помощь	援助
385	речь	言葉, スピーチ
478	возможность	可能性
483	очередь	順番, 行列
533	вещь	物, 持ち物
f203-2.	ь (特殊変化)	
167	мать	母

以上の語数を表にまとめる。

(10) 男性名詞

	単数主格	単数造格, 前置格, 複数主格	語数
m1-1	子音字 (「基本的硬軟変化」)	-ом, -е, -ы	42
m1-2	ц (語幹アクセント)	-ем, -е, -ы	1
m1-3	ц (語尾アクセント)	-ом, -е, -ы	2
m1-4	ж / ч / ш / щ (語幹アクセント)	-ем, -е, -и	1
m1-5	ж / ч / ш / щ (語尾アクセント)	-ом, -е, -и	0
m1-6	г / к / х	-ом, -е, -и	14
m1-7	子音字	-ом, -е, -а́	12
m1-8	子音字	-ом, -е, -ья	3
m1-9	子音字	-ом, -е, その他	4
m2-1	ь (語幹アクセント)	-ем, -е, -и	4
m2-2	ь (語尾アクセント)	-ём, -е, -и	2
m2-3	ь (特殊変化)	-ём, -и, -и	1
m2-4	ь	-ем, -е, -я́	1
m3-1	й (и + й 以外)	-ем, -е, -и	2
m3-2	и + й	-ем, -и, -и	0
m4	а	-ой, -е, -ы	1
m5	я	-ей, -е, -и	1

(11) 中性名詞

	単数主格	単数造格, 前置格, 複数主格	語数
n1-1	о (「基本的硬軟変化」)	-ом, -е, -а	16
n1-2	о	-ом, -е, -ья	1
n1-3	о	-ом, -е, その他	2
n2-1	е (ц / ж / ч / ш / щ / и + е 以外)	-ем, -е, -я	2
n2-2	ё	-ём, -е, -я	0
n2-3	ц / ж / ч / ш / щ / + е	-ем, -е, -а	2
n2-4	и + е	-ем, -и, -я	13
n3	мя	-менем, -мени, -мени	2

(12) 女性名詞

	単数主格	単数造格, 前置格, 複数主格	語数
f1-1	а (「基本的硬軟変化」)	-ой, -е, -ы	27
f1-2	ц + а (語幹アクセント)	-ей, -е, -ы	2
f1-3	ж / ч / ш / щ + а (語幹アクセント)	-ей, -е, -и	1
f1-4	ж / ч / ш / щ + á (語尾アクセント)	-ой, -е, -и	1
f1-5	г / к / х + а	-ой, -е, -и	15
f2-1	я (и + я 以外, 語幹アクセント)	-ей, -е, -и	3
f2-2	я́ (語尾アクセント)	-ей, -е, -и	2
f2-3	и + я	-ей, -и, -и	6
f3-1	ь	-ью, -и, -и	10
f3-2	ь (特殊変化)	-ер-ью, -ер-и, -ер-и	1

4. 初等学習者のための名詞の文法

(10) の男性名詞の表によると, 最も語数が多いのは m1-1 のタイプで, これは硬変化の基本的なタイプである。次は m1-6 の「正書法の規則」が関わるものである。それらに続くのは語尾にアクセントがある -á の複数主格形をもつ語となっている。また, 軟変化タイプの ь や й の語末形式の語はそれほど多くはない。

(11) の中性名詞については, やはり基本的な硬変化のタイプである n1-1 が多い。それに次ぐのは n2-4 の ие タイプの語である。

(12) の女性名詞においても最も多いのは f1-1 の硬変化の基本的なタイプのものである。続いて, f1-5 の「正書法の規則」が関わるタイプである。さらに, ь で終わる語, ия で終わる語となっている。

これらのことから名詞の格変化の導入について, 次の優先順位が考えられる (並行して導入すべきものはそのことも考慮に入れた)。

- (13) a. 男性名詞・女性名詞・中性名詞における硬変化の基本的タイプ
- b. 男性名詞・女性名詞の (г / к / х により) 「正書法の規則」が関わるタイプ
- c. 中性名詞 ие と女性名詞 ия のタイプ
- d. 男性名詞の複数形が -á となるタイプ

e. 女性名詞の **ь** で終わるタイプ

これら以外のものは例外的なものとして学習者に解説することが許されるであろう。

格変化形については、六つの格を一括して導入することはほとんどなく、それぞれの格をその用法とともに別個に学習させるのが普通の方法であると考えられる。そのような場合、(13) から考えられるのは、まずそれぞれの性の基本的硬変化の変化形を導入し、他のタイプの語を基本的硬変化との違いとして説明するやり方である。例えば、複数主格形を取りあげる際には、まず硬変化の基本的タイプの語尾を学習者に提示し、次に「正書法の規則」が関わるタイプの複数主格、その次に中性名詞 **ие** と女性名詞 **ия** のタイプ（軟変化）、男性名詞の語尾 **-á** のタイプ、等々という順に学習させていく。また、単数前置格では、やはり硬変化の基本タイプ（この場合、軟変化でも同じであるが）を学習させ、続いて中性名詞 **ие** と女性名詞 **ия** のタイプ（場合によっては男性名詞の **ий** も同時に）、女性名詞の **ь** で終わるタイプ、という順に導入していくわけである。

全体的に基本的軟変化タイプは語数が少なく、優先度が低くならざるをえない。基本的軟変化の導入方法としては、(13c) の中性名詞 **ие** と女性名詞 **ия** のタイプから導いていく方法、または、硬変化との対応関係を学習者に理解させることにより習得を促す方法が考えられる。

註

- ¹ この辞書ではロシア語の 10000 語について学習者にとっての語彙としての重要度の観点から順番がつけて並べてある（文法の観点、特に語形変化については考慮されていないようである）。本稿の筆者が対象とするロシア語学習者は日本語話者であるが、Brown (1996) は必ずしも日本語話者のロシア語学習者を利用者として想定してはいない。しかし、大部分は日本人のロシア語学習者にも適用できると考える。また、ソヴィエト連邦解体などによるロシア社会の変化にともないロシア語学習者の学ぶべき語彙も変化していると考えられるが、Brown (1996) では一部には少し古めの語もあがっている。しかし、それもごく少数の語であるから（特に基本的な語については）さほど問題は無いと判断した。

- ² 一部の名詞には、ひとつの格に複数の形式をもつものがある。例えば、час (時間) では、単数生格は **ча́са** あるいは **ча́су**、ただし 2 / 3 / 4 などとともに用いられる場合は (два) **часá** (二時・二時間)、単数前置格は **ча́се** の他に意味により (в) **ча́су** もある。このようなものは (系統的に文法として学ぶのは) 初等学習者の学ぶべき範囲を超えていると考え、ここでの考察の対象に含めない。また、アクセントの移動や出沒母音も、早い段階での学習には不向きと考え、やはり考察の対象とはしない。
- ³ ただし、-жъ / чъ / шъ / щъ のものは女性名詞であり、それぞれ語末に ь がないものは男性名詞である (例えば **ночь** 「夜中」は女性名詞であるが、**врач** 「医師」は男性名詞)。また、-ость のものは男性名詞の **гость** (客) を除いて女性名詞である (例えば **возможность** 「可能性」)。
- ⁴ この「自然性が文法性に優先する」という原則は外国人名など外来語にも適用される。
- ⁵ m4 のタイプには「正書法の規則」が関わるものも存在するが、B600 にはそのようなものがなかったので表では省略した。例えば **Миша** がそうである。B600 に含まれない語形変化タイプで、タイプ分けにおいて初等学習者にとって重要と思われないものいくつかは (4)-(6) の表で省略してある。

参考文献

- Brown, J. Nicholas. 1996. *Russian Learner's Dictionary*. London and New York: Routledge
- Федянина, Н. А. 1982. *Убаренце в современном русском языке*. 2-е изд. М.: Русский язык.
- 堤 正典. 2002. 「ロシア語初級学習者のための文法と語彙 — 動詞・形容詞」『神奈川大学言語研究』第 24 号, 149~67.